



## 子どもたちの質問に



## スタッフや利用者の皆さんが答えてくれました



### これまで一番つらかったことは何ですか？

- 人の目です。何か言われるんじゃないかと怖かった。
- 障がいを理解してもらえず、仕事を与えてもらえなかったこと。
- 障がいのことがわかった時に、自分を避けたり離れていったりする人がいたこと。



### ここ(スタジオピア)に来て、何が変わりましたか？

- 症状がひどかったときは、服を変えたり、お風呂に入ったりすることもできなかったけれど、今はそんなことはなくなりました。
- 以前は、フラッシュバック（昔あったつらいことがよみがえること）がありましたが、今はなくなりました。
- 病気になりたての頃は、偏見が怖くて病気を見せないようにしていました。友達にも相談できませんでした。今、自分は病気であることを隠さず生きています。病気と付き合いながら、自分らしく生きています。
- ここでは、誰もが僕のことを知ってくれています。
- ここには、思いをわかってくれる仲間がいます。



### みんなに伝えたいことは？

- 多くの人に、もっと真剣に障がいのことを理解してもらって、障がいを受け入れられる社会になってほしい。

## 子どもたちの感想



★私の中には偏見がありました。スタジオピアでは、みんながすごく明るい。だから、この場所がどんなところなのか、いろんな事が知りたくなりました。皆さんが自分自身の思いをたく

さん話してくれました。世の中の偏見はひどいなと思う一方で私もそう思わせていた…。でも、もっとスタジオピアの皆さんの思いを伝えていきたいと思いました。

★楽しかったです。私は、ここで精神障がいという言葉を知りました。精神障がいについてもっと知りたいです。

★スタジオピアの人たちに共通していたことは「自分が悪い」という立場に立たされてきたということでした。障がいがあることで「いじめられるかもしれない」「何か言われるかもしれない」と思ってしまうと話してくれました。

私たちの住む地域の中に、このように誰もが集える居場所ができ、その居場所を起点にして、障がい者と地域の人たちが出会い、交流することが、障がい者に対する偏見や差別をなくすことにつながるのではないのでしょうか。

